

# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM '91 10月号

## 寄贈品コーナー展示 くらしと焼物

— 博物館実習生による展示を公開中です —

■虫の声が目立ち始める季節、博物館には一年でいちばんにぎやかな一週間が訪れます。主役は、学芸員の資格を取得するための博物館実習を受講する大学生達です。

平塚市博物館の博物館実習では毎年、実習期間中のうち3日間を、実習生による寄贈品コーナーの展示制作に充てています。今年度の展示は「くらしと焼物」をテーマに作業が進められ、9月18日からみなさんにご覧いただくことになりました。

■展示制作にあたっては、まず担当学芸員から実習生に対して展示資料が提示されます。その資料を見て展示のテーマと構成を考えると作業が始まります。20名余りの実習生が意志を統一するのはなかなか難しいようで、今年も例年どおり議論が右往左往する状態でしたが、学芸員の助けをかりてようやく意見のまとまりをみました。

■実際の作業は、提示された展示資料の取捨選択や展示ケース内のレイアウトを行う「構成班」、解説パネルの原稿執筆からパネル製作を行う「解説班」、写真の撮影・焼付けからパネル製作を行う「写真班」、タイトルパネルやコーナーサイン、資料のラベルを製作する「ラベル班」に分かれて行われました。

■展示のデザイナーである構成班と、他の班の作業が同時進行するというのもあって、うまくはかどらない一幕もありましたが、予



定の17日午後3時には無事展示を完了するに至りました。ほとんどの実習生にとっては初めての展示作業であったようなので、資料を展示する過程を自分でたどってみたことは、貴重な体験になったことでしょう。

■完成した展示は、私たちのくらしと深い関わりのある焼物について、用途と歴史の2つの面からアプローチを試みています。昔懐かしい焼物の道具や、焼物の意外な使われかた、そして焼物についての豆知識など、とても身近な展示になりました。「文化の秋」の予定にぜひお書き添えを。

寄贈品コーナー展示  
くらしと焼物  
9月18日～10月30日

# 《秋期特別展》

# 『切手のなかの博物誌』

会期：11月10日（日）～11月29日（金）  
 場所：博物館特別展示室

小さな切手のなかにある「物の世界」をのぞいてみませんか？

切手の中には、数多くの博物館資料が図案として登場しています。今回開催する特別展では、切手の図案になった浮世絵・動植物・昆虫さらには、人形芝居等に使われた博物館資料を切手とともにご紹介します。また、切手の原画・図案についても昆虫シリーズ切手の原画や普通切手の原図を中心に20枚程展示する予定です。その他にも、物を中心としたテーマコレクション切手も展示したいと考えています。



## 漂着物を拾う会

### もりたつかさ君？ボールをひろったよ？

（花水川河口付近）

海岸に打ち上げられたたくさんの漂着物は、一体、どこから流れてくるのでしょうか。

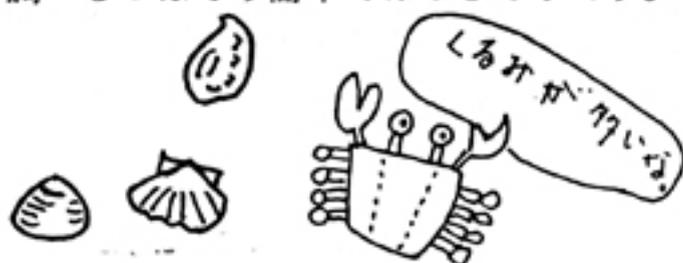
9月14日の早朝、「もりたつかさ」と平仮名で書かれたサッカーボールを見つけました。他にもボールの漂着物が多いので、これらは、きっと金目川から流れてくるのに違いないと見当をつけ、特別に役所のコンピューターで持ち主を調べてもらいました。でも、平塚市には、「もりたつかさ」という名前の子は、いませんでした。隣の大磯町の子なんだろうか。それともずっと沖合の海流にのって運ばれてきたのだろうか。漂着物がどこから流れてきたかを調べるのはそう簡単ではなさそうです。



9/14、「漂着物を拾う会」で拾ったもの

貝	サトウガイやサルボウ(20)		
が	カキ(16)	ツメタガイ(3)	
ら	バカガイ(5)	ムラサキイガイ(4)	
	ミドリイガイ(1)		
木	くるみ(113)	人	ボール(4)
の	くり(10)	工	ライター(4)
実	その他種等(9)	物	その他(5)

( )の数字は個数



郷土の博物館の第2回目は、わたしたちの生活に欠かせない「水」をテーマに持つ「水道記念館」を紹介します。

入口に立つと、音楽が鳴り出し、かわいい河童がお出迎えます。そして、直径1.8メートルの送水管を通して、展示室に入ると水についてのバラエティーに富んだ展示の数々。見応えのある展示でした。みなさんも一度、訪れてみませんか？

### 〈展示のみどころ〉

#### その1「水はつくられる」

川の水は、どのようにして飲料水になるのでしょうか。相模川に造られたダムや浄水場、取水口からの水が飲料水になるまでの浄水のしくみがわかりやすく模型やパネルで説明してあります。

#### その2「水とくらし」

⑫のコーナーの「湖底に沈むふるさと」は、印象的でした。三保ダムの建設にあたり、沈むことになってしまった当時の村のようすが紹介されています。

#### その3「VTR・Q&A」

水道の学習に訪れる小学生に人気のコンピューターによるクイズのコーナーです。

例えばこんなクイズが・・・

- ・城山ダムで放水すると海に着くまでどのくらいの時間がかかるかな？
- ・シャボンジェット機一機分を洗うのに必要な水の量は？
- ・16両編成の新幹線の列車には、どのくらいの量の水が積み込まれているでしょう？



写真上 「水道記念館」(元第一浄水場)

下 相模川をモデルにした和風庭園



「入口ではガッパがあなたを」

### 〈利用の案内〉

開館時間：午前9時30分～午後4時30分

休館日：月曜日(祝日、休日を除く)

祝日、休日の翌日

年末年始(12/28～1/4)

交通：JR相模線 寒川駅または宮山駅下車

徒歩10分

## 《行事案内》

10月の行事予定		
5	土	ナチュラルリスト講座 天体観察会
6	日	自然観察会
8	火	宮ヶ瀬ダム見学会
12	土	漂着物を拾う会 古文書講読会 石仏を調べる会 土曜観察会
13	日	体験学習「紙すき」
18	金	星を見る会「月と土星」
19	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 土曜観察会
20	日	相模川を歩く会
26	土	古文書講読会
27	日	石仏を調べる会
11月の行事予定		
9	土	石仏を調べる会(まとめ) 土曜観察会(まとめ) ナチュラルリスト講座 天体観察会 古文書講読会
10	日	漂着物を拾う会 相模川の生い立ちを探る会 体験学習「巣箱作り」
16	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
17	日	相模川を歩く会
19	火	古文書講読会
29	金	星を見る会(星雲・星団)
30	土	土曜観察会
9/17~10/30 寄贈品コーナー(博物館実習生による展示)		
11/1~11/29 寄贈品コーナー(地質部門)		
11/10~11/29 特展「切手のなかの博物誌」		
~11/2 プラネタリウム「星の一生 Part 2」		
11/9~12/26 「月面遊覧」		
9/10~12/21 学校団体投影		

### ■星を見る会「月と土星を見よう」

秋の星座を観察したり、月や土星を望遠鏡で観察します。 ☆ ☆ ☆

日時：10月18日(金)午後6時~8時  
場所：博物館屋上(集合は科学教室へ)

### ■寄贈品コーナー「くらしとやきもの」

わたしたちのくらしと深い関わりのあるやきもの(陶器等)を展示します。この展示は、博物館実習生(20人)による共同企画によるものです。

期間：9月18日~10月30日

### ■体験学習「巣箱を作ろう」

小鳥たちのためにひとはたらきしてみませんか? 巣箱を作ったり、今まで使っていた巣箱の修理やそうじをします。

日時：11月10日(日)

場所：博物館科学教室

持ち物：後日、参加者に連絡します。

申し込み：往復はがきで担当宛10月25

日まで。希望者多数の場合は、抽選で20名までとします。



### ■秋期特別展「切手のなかの博物誌」

身近な切手を所蔵資料と対応させ、切手の様々な図案に利用される博物館資料の数々を紹介します。

会期：11月10日~11月29日

会場：特別展示室

### ■プラネタリウム投影

テーマ：星の一生 Part 2

誕生した星はどのようにして一人前の星に進化していくのでしょうか。大人の星のひとつである太陽を例にとりお話をします。

投影時刻：土曜日 11:00 ☆

日曜日 11:00 ☆

14:00 ☆

投影期間：11月2日(土)まで ☆